

平成26年度 事業報告 歳入歳出決算報告

7月27日、けんせつプラザ山形にて開催されました。7月通常組合会において、平成26年度の歳入歳出決算及び事業報告が提案され、全ての議案が承認されましたので、ご報告いたします。

1. 被保険者の状況

・平成26年度末の被保険者数は18,145人で、前年度末18,602人より457人減少しました。

2. 保険給付等の状況

・平成26年度の費用総額は、44億9,841万9,262円となり対前年度比8,480万76円の減額です。
・付加給付金の支給額は、9,418万8,991円となり対前年度比1億1,951万7,306円の減額です。

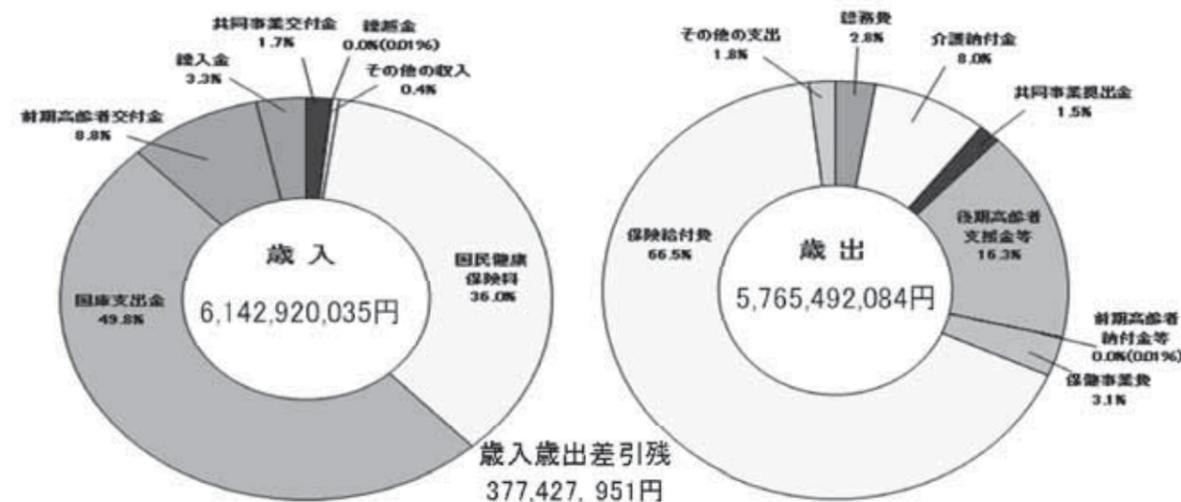
3. 平成26年度決算状況

・平成26年度の歳入が61億4,292万35円で、対前年度比1億9,270万7,509円の増額、歳出は57億6,549万2,084円で、対前年度比1億8,386万102円の減額となりました。
・平成26年度は、前年度の決算剰余金全額を平成26年度の繰越金として計上し、他に給付等支払準備金2億円を取崩し繰入金に入れたこともあり、3億7,742万7,951円の剰余金となりました。剰余金は1億円を準備金に積立、2億7,742万円を平成27年度に繰越しました。

4. 各種事業

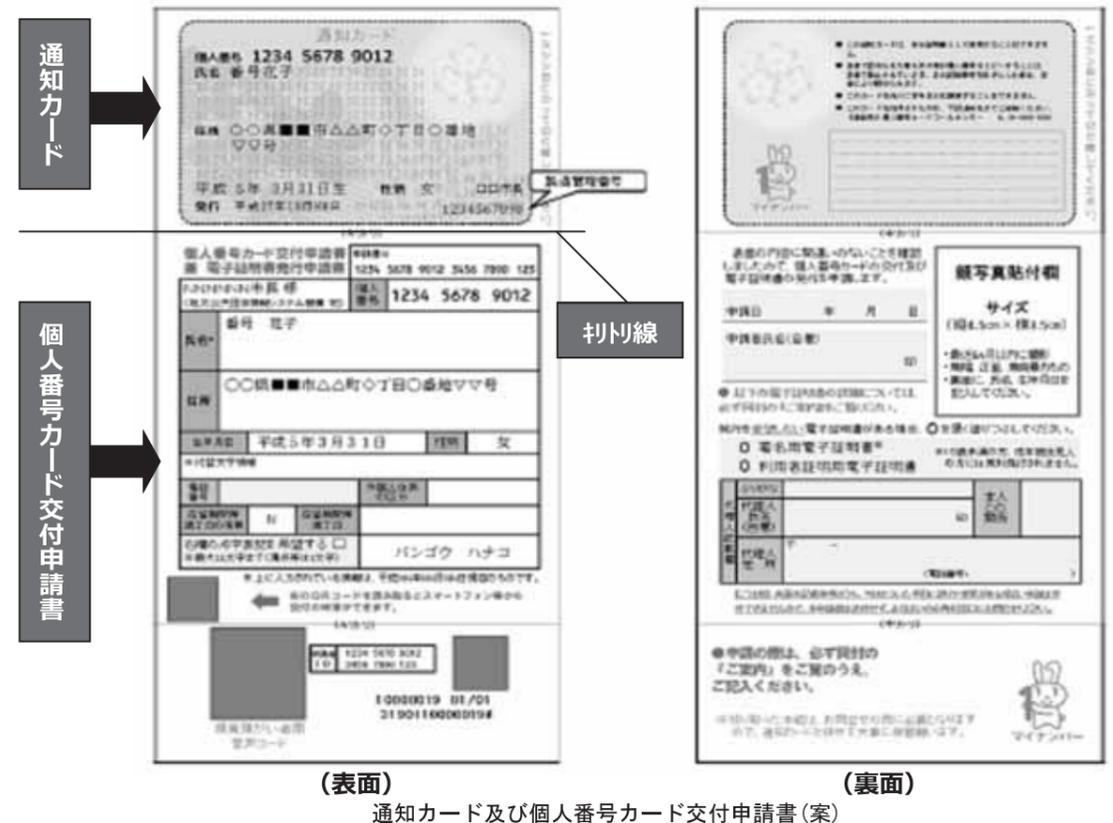
- ・組合員とその家族が受診した健康診断に補助金を支給しました。(10,719件うち脳ドック909件)
- ・インフルエンザ予防接種助成金制度を実施し、申請件数が1,421件、212万6,483円を支給しました。2年度目に入り、大勢の方からご利用いただいております。
- ・健康教室は19支部24会場（前年度19支部24会場）において開催し、963名が参加しました。
- ・保健協力員による保健事業として、健康教室を除き打合せ会議・事前準備・集団健診を含めると事業所数133件、参加者数が3,484名となりました。
- ・平成27年度からは保健協力員の事業の助成はなくなりました。
- ・健康に関する各種冊子の配布、機関紙「私たちのこくほ 健康の広場」を7回発行しました。
- ・電算を活用し、平成25年1年度分と平成26年1月から11月までの奇数月計7回にわたって全世界帯に対し、治療に要した医療費をお知らせしました。
- ・1年間医療費がかからなかった349人(前年度384人)の健康家庭に対し健康賞と記念品を贈呈しました。

5. 平成26年度決算状況



平成27年10月から 順次『通知カード(マイナンバー)』が届きます。

今年10月より順次お住まいの市町村から、『通知カード(マイナンバー)』が届きます。届いた通知カードは建設国保をはじめ、年金、税金、雇用保険等の手続きで必要になります。
届いたら大切に保管し、なくさないようにしましょう。
※平成27年8月末現在の様式イメージですので、実際送付される物は今後変更となる場合があります。



※届いたら、なくさないように大切に保管して下さい。

個人番号カードについて

『個人番号カード』は、お住まいの市町村から通知カードと一体の『個人番号カード交付申請書』が送付され、その『個人番号カード交付申請書』を郵送する事により、平成28年1月以降に交付を受ける事が出来ます。通知カードを窓口で提示する場合、通知カードとは別に「運転免許証」や「旅券」等の本人確認書類が必要になります。個人番号カードには顔写真があり、1枚でマイナンバーの提示と本人確認ができるため非常に便利です。交付手数料は当面の間無料となりますので、個人番号カードの作成にご協力をお願いいたします。

平成28年1月から 建設国保の手続きにマイナンバーが必要となります。

来年1月から建設国保組合の給付や加入・脱退等の手続きにおいて『マイナンバー(個人番号)』の記入が必要となり、資格取得・喪失の届出、各種支給申請等の様式に個人番号欄が追加されます。
国保組合はマイナンバーを給付や資格管理に利用するため、番号法により「個人番号利用事務実施者」に位置付けられており、被保険者の皆様から個人番号を取得して、適正に管理する事を国から求められています。皆様からの番号の取得方法については、詳しい事が決まり次第、お知らせいたします。
マイナンバーは皆さんの手続きを確実に、迅速に進めるために必要な事項となりますので、組合員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。